

佐渡米の収穫が始まりました！～各集落のようす～



8.24 岩首集落 棚田のようす



9.13 小倉集落 棚田のようす



9.9 金井地区 ほ場のようす



9.7 新穂地区 ほ場のようす

今年は、前半は空梅雨、後半は高温多雨で稲の丈が急に伸びましたが、その後は出穂までの好天とお盆以降の昼夜の大きな寒暖差で、順調に実りの秋となりました。9月の風雨で若干倒伏したところもありますが、きれいな黄金色に実りました。



←「カルトン」と呼ばれる白と黒のお皿です。お米の形質や色などでその品質を判定します。白い皿は、斑点米や異物を、黒い皿は、未熟米や胴割米を区別する時に使います。

初検査が行なわれました！

今月6日に初検査を行い、早生2品種（こしいぶき、あきたこまち）合計417袋を検査しました。上位等級比率は、約8割で、いずれも、粒張り及び粒揃いは平年並みで、昨年影響の大きかったカメムシの食害は少なかったようです。

検査員は、カルトンに抽出した玄米を入れて、カメムシなどの害虫の被害や未熟米の率などを確認していました。また、20gの玄米を一粒ずつ整粒と未熟粒などに選り分けて、整粒歩合を確認していました。

編集人：佐渡農業協同組合
営農事業部米穀販売課 渡部・古城(ふるぎ)
beikokuka.hanbai@ja-sado-niigata.or.jp

発効日：平成25年8月